

廃棄物減量に 取り組む優良事業者を 表彰しました

【問】環境都市推進課 ☎(888)5708



2月7日の表彰式で。事業者のみなさんと
嶋環境部長(前列中央)

市では毎年、多量排出事業者を対象に訪問指導を行っており、「廃棄物の発生抑制」「適正分別」「循環型社会の構築」の観点から、各事業所の取り組みを評価しています。

今年度は、循環型社会の構築に積極的に取り組んでいる、次の6者を「秋田市事業系一般廃棄物減量等優良事業者」として表彰しました。

*多量排出事業者Ⅱ「大規模小売店舗立地法」に規定する店舗を有する事業者など。現在、市内では118者が対象となります。

■イオンモール(株)イオンモール秋田
簡易包装や、廃棄物計量管理システムの導入によるテナント事業者への分別指導の実施など

■(株)伊徳

・いとく秋田東店

・いとく自衛隊通店

空き缶などの回収やレジ袋削減、生ごみのバイオガス発電所での再生利用など

■(株)そごう・西武 西武秋田店

簡易包装や生ごみ、発泡スチロールの再生利用など

■(株)タカヤナギ

・グランマート泉店

・グランマート外旭川店

空き缶などの回収やレジ袋削減、生ごみの堆肥化や、バイオガス発電所での再生利用など

システム開発事業の 地方拠点を秋田市に



(株)バイトルヒクマの高村真康
代表取締役(中央)と佐竹知事、
穂積市長(誘致企業決定通知書
交付式で)

2月4日、県と市は、(株)バイトルヒクマ(本社・東京都)を誘致企業として受け入れることを発表しました。

同社は、金融・証券・保険業界向けシステムの受託開発などを行っており、新たに秋田事業所を土崎港南に開設しました。地元での新卒採用や、Aターン制度の活用などにより、IT人材を確保していく予定です。

秋田市の誘致企業の受け入れは、今年度3社目になります。

企業立地雇用課 ☎(888)5733

■(株)バイトルヒクマ

事業内容▶ソフトウェアの受託開発、自社開発パッケージソフトウェアの販売、パソコンスクールの運営

資本金▶9千976万円

新規雇用▶操業時2人(将来計画17人)

包括外部監査の結果報告

2月8日、公認会計士で市の監査人である泉田雅俊さんから、平成30年度包括外部監査の結果を報告していただきました。包括外部監査は、市の組織に属さない独立した立場の監査人が、市の事務をチェックするものです。

市では、報告された内容を十分検討し、適切に対処してまいります。報告書は市ホームページでご覧いただけます。総務課 ☎(888)5423

【広報ID番号 1011267】

平成30年度の監査テーマ

秋田市教育委員会の
財務に関する事務の執行について

監査結果の要点

◆私費会計である校外学習のバス代の収入および支出について、決算報告書に反映させるとともに、私費会計事務点検結果報告書に記載し、点検結果を報告する必要がある

◆学校の備品および図書について、棚卸しを実施し、管理する必要がある

◆小・中学校におけるタブレット端末の利用実態を把握した上で、新学習指導要領の目標水準を実現するための配備計画を策定することが望まれる

◆図書館を利用して市民からは一定の満足度評価を得ているが、利用していない市民も対象にした利用状況調査などを実施し、今後の図書館サービスの方向性を検討することが望まれる

